

## 3月14日：VN指数は利益確定売りで後退 (VN-Index -0.49%)

- VN指数は昨日からの勢いを維持し、上昇して取引を開始。また、市場の困難に対処するためのベトナム首相と主要企業間の会談も好感された。
- しかし、2日続騰していたこともあり、利益確定売り圧力が強まり、相場はもみ合いとなった。銀行と小売セクターが重しとなった。
- 後場には売り方が優位となり、指数は下落に転じた。一時的な上昇も見られたが、すぐに大きく売りが発生した。
- 終盤には買い支えが見られ、指数の下げ幅は縮小した。
- 下落銘柄が優勢で、193銘柄が上昇、292銘柄が下落、69銘柄が変わらずとなった。
- 流動性はさらに増加し、6.5%増の27.9兆ドンとなった。

### VN30指数は多くの銘柄が下落 (VN-30 -0.94%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、4銘柄が上昇、22銘柄が下落、4銘柄が横ばいとなった。
- ほとんどの銀行株が1%超の下落を記録。そのほか、BCM (-1.88%)、HPG (-1.46%)、MSN (-2.47%)、MWG (-2.68%)、SAB (-1.51%)なども下落した。
- GAS (+2.53%)、GVR (+1.55%)、VIC (+2.11%)などは指数を支えた。

### セクター・個別株の動き

- ウクライナがロシアの製油所を攻撃し、世界の原油価格が急騰したことを受け、石油ガス株のPVD(+4.94%)、PVC(+2.78%)、PVB(+7.80%)が急騰した。
- HPG(-1.46%)、HSG(-1.55%)、NKG(-0.62%)は、国内鉄鋼価格が4ヶ月上昇した後に下落したことに伴い、軟調に推移した。

- 外国人投資家は本日、9,100 億ドルを大きく売り越した。VHM(-0.12%)と VNM(-0.42%)が最も売り越された。一方、SSI (-0.26%)は大きく買い越された。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。